

かみのかわ

議会だより



Kaminokawa



芸術の秋！文化祭開催 すばらしい作品・演技が披露されました。

No. 171

平成30年11月1日

◆編集発行◆

上三川町議会広報委員会

〒329-0696
栃木県河内郡
上三川町しらさぎ一丁目1番地
TEL 0285 (56) 9161

◆目次◆

9月定例会議決事項	P2～5
決算特別委員会 討論	P6・7 P7
常任委員会・議会運営委員会視察研修報告	P8・9
審議結果一覧	P10
一般質問	P11～17
上三川町ってどんなところ？・編集後記	P18

☆平成30年 第4回町議会定例会☆

◆9月定例会◆

平成30年第4回町議会定例会が9月4日から18日までの15日間の会期で開催されました。人事、平成29年度決算認定等に関する議案について審議を行いました。

※ 議案に対する採決結果については、10ページに「審議結果一覧」を掲載しています。



このようなことが決まりました。

◆ 議案第51号

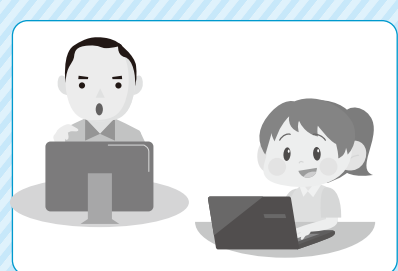
教育委員会委員の任命につき同意を求めること
について

9月30日をもって任期満了となる教育委員について、清水 智生 氏(大字東汗)を再任することに
同意しました。

◆ 議案第52号

人権擁護委員の推薦につき意見を求めること
について

12月31日をもって任期満了となる人権擁護委員の後任として、篠原 光枝 氏(大字西木代)を適任
とすることに決定しました。



見にご~や~!

議会のホームページ
上三川町のホームページから
[上三川町議会](#) をクリック。
新着情報や多彩なメニュー満載です。
是非、見に来てくださいね。

報告

◆ 公益財団法人上三川町農業公社の
経営状況説明書の提出について

平成29年度の事業報告・決算及び平成30年度の事業計画・予算が報告されました。

◆ 平成29年度決算健全化判断比率及び
資金不足比率の報告について

監査委員の審査意見を付して、平成29年度の財政指標が報告されました。

健全化判断比率と資金不足比率
の公表

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、前年度決算に基づく健全化判断比率と公営企業会計の資金不足比率を、監査委員の審査に付した上で議会に報告し、公表をしないてはならないとされています。

指 標	内 容	比率推移		備 考
		平成29年度	平成28年度	
健全化判断比率	実質赤字比率	—	—	赤字なし
	連結実質赤字比率	—	—	赤字なし
	実質公債費比率 (3カ年平均)	5.0%	5.3%	△0.3%
	将来負担比率	—	—	負担残高なし
資金不足比率	公営企業会計（水道事業会計、公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計）の事業規模に対する資金不足額の割合		—	資金不足が生じている会計なし

決算審査意見書（要旨）

監査委員より決算の審査結果報告がされました。

【監査の対象】

- ・ 一般会計
- ・ 特別会計
- ・ 水道事業会計

【審査結果】

一般会計決算書、特別会計決算書及び付属書類は法令に準拠し作成され、計数は正確で内容も適正であると認められました。

水道事業会計決算書及び付属書類は、法令に準拠し作成され、経営・財政状況も適正であると認められました。

財産に関する調書は、計数は正確であり、適正な管理状況が認められました。

印紙等購置基金の運用状況は、基金の設置目的に従い運用されていると認められました。

財政指標は概ね良好な数値を示しておりますが、本町の特徴である町税収入額の増減による財政運営の不安定化に注視し、歳入においては中期的計画に基づいた財源確保、歳出においては義務的経費の縮小に向けた安定した財政運営が図られることをお願いし、決算審査の報告とします。

監査委員 館野治信
監査委員 稲見敏夫

◆平成30年度補正予算◆

議案番号	会計名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	歳入 (主なもの)	歳出 (主なもの)
第50号	一般会計 (第2号) ※専決処分	106億5,960万円	1億900万円	107億6,860万円	財政調整基金繰入金の増額	諸税還付金、還付加算金の増額
第53号	一般会計 (第3号)	107億6,860万円	4,763万8千円	108億1,623万8千円	社会資本整備総合交付金、地域イベント助成事業交付金の増額	とちぎの元気な森づくり事業補助金、上三川霊園における工事請負費の増額
第54号	国民健康保険事業 特別会計(第1号)	29億円	1億7,341万2千円	30億7,341万2千円	前年度繰越金の増額	国庫負担金等償還金の増額
第55号	介護保険事業 特別会計(第1号)	21億6,500万円	6,328万4千円	22億2,828万4千円	前年度繰越金の増額	国庫負担金等償還金の増額
第56号	後期高齢者医療 特別会計(第1号)	2億6,700万円	6千円	2億6,700万6千円	特別徴収保険料の増額	前年度事務費繰入金精算に伴う一般会計繰出金の増額
第57号	公共下水道事業 特別会計(第1号)	12億3,900万円	956万1千円	12億4,856万1千円	繰入金、町債の増額	委託料の増額

◆平成29年度決算認定◆

平成29年度一般会計・特別会計の歳入歳出決算、水道事業会計剰余金の処分及び決算について、監査委員の決算審査意見書を付し、上程されました。
 決算特別委員会において審査を行い、その結果報告を受けて本会議において認定しました。

会計名		歳入		歳出	
		決算額	前年度比	決算額	前年度比
一般会計		134億6,296万円	21億4,606万円	130億8,975万円	22億1,745万円
特別会計	国民健康保険事業	35億1,337万円	△1億2,102万円	32億8,780万円	△2億580万円
	介護保険事業	21億4,759万円	8,137万円	20億5,565万円	1億2,816万円
	後期高齢者医療	2億5,111万円	2,017万円	2億4,890万円	2,457万円
	公共下水道事業	12億521万円	4,995万円	11億8,987万円	5,341万円
	農業集落排水事業	3億1,255万円	△175万円	3億442万円	63万円

会計名		収入		支出	
		決算額	前年度比	決算額	前年度比
水道事業会計	収益的収支	5億8,639万円	455万円	5億2,000万円	2,133万円
	資本的収支	8,850万円	2,292万円	2億8,266万円	3,491万円

※決算額は一万円未満を切り捨てて表記しています。

議案番号	付議事件項目	採決結果
第58号	一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
第59号	国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第60号	介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第61号	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第62号	公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第63号	農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第64号	水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	可決および認定

議員提出議案

◆ 議員案第1号

自動車関係諸税の抜本改革に関する意見書の提出について

自動車の保有に係わる税負担の軽減措置のため次のことを、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、衆参両議院議長へ要望するものです。

【意見書】(要旨)

国民の生活必需品である自動車は、公共交通が充実していない地方ほど保有台数も多く家計の大きな負担となっているが、取得・保有・走行の各段階で複雑且つ過重な税負担がかけられており、旧道路特定財源の一般財源化による課税根拠の喪失や、二重課税といった多くの課題が残されている。

それらのことから、次のことを要望する。

- 1 車体課税を抜本的に見直し、簡素化・負担の軽減を図ること。
- 2 燃料課税を抜本的に見直し、簡素化・負担の軽減を図ること。
- 3 平成31年4月以降期限切れを迎える各種減税措置を新税制度導入までの間、延長すること。
- 4 前記項目改革の際、地方自治体の財源に影響を与えぬよう適切な措置を図ること。

議員派遣

【総務文教常任委員会視察研修】

日程

11月8日・9日

視察先・目的

岩手県花巻市
市民との協働によるまちづくりへの取り組みについて
岩手県一関市
国体(フエンシング競技)開催に向けた取り組みについて

【広報委員会視察研修】

日程

10月29日・30日

視察先・目的

石川県白山市
石川県津幡町
議会広報紙の編集について

【栃木県町村議会議員研修会】

(栃木県町村議会議長会主催)

日程

11月27日

視察先・目的

宇都宮市
議会の活性化と資質向上を図るため

平成29年度決算を審議し、認定される

決算特別委員会（9月10日・11日）

平成29年度会計決算について、各常任委員会から選出された6人と副議長を加えた7人で、所管課の説明を受けながら審査を行いました。



- | | | | | | | |
|-------|------|------|------|-----|------|------|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 津野田重一 | 高橋正昭 | 篠塚啓一 | 小川公威 | 稲川洋 | 生出慶一 | 石崎幸寛 |

【各会計の主な質疑】

（一般会計）

問 敬老祝金の支給額は？

答 80歳に5千円、85歳に1万円、90歳に2万円、95歳に3万円、100歳に10万円を支給しています。

問 乳がん検診の受診状況は？

答 対象者は30歳以上の女性で、対象者数は、5,583人です。そのうち44.2%にあたる2,466人が受診をしています。

問 中学生海外派遣事業の派遣人数と、派遣先変更の予定はあるか？

答 中学2年生22人と、引率者3人をオーストラリアのケアンズに派遣しています。治安等を考慮すると、派遣先として最適であると考えられるため、変更の予定はありません。

問 中小企業事業資金融資信用保証料補助金の実績件数は？

答 14件です。

問 国民健康保険事業特別会計

問 保険税徴収率向上のための取り組みは？

答 短期被保険者証や資格者証の交付等により、積極的に滞納者との接触を図っています。

問 介護保険事業特別会計

問 介護認定調査員への報酬の内容は？

答 日額12,500円で、週4日の勤務です。

問 後期高齢者医療特別会計

問 被保険者数の推移は？

答 平成29年度末の人数は3,249人で、前年度末から78人の増となっています。

(公共下水道事業特別会計)

問 マンホール蓋ふたの交換数は？

答 総数5,385個のうち、標準耐用年数15年を超えたものや劣化が生じたもの、29個を交換しました。



(農業集落排水事業特別会計)

問 加入世帯数は？

答 1,435世帯です。



【審査結果】

各会計について、次のとおり決定しました。

一般会計

国民健康保険事業特別会計

介護保険事業特別会計

後期高齢者医療特別会計

公共下水道事業特別会計

農業集落排水事業特別会計

【全員賛成により認定】

水道事業会計

【全員賛成により剰余金の処分を可決・決算を認定】

討 論 (抜粋)

平成29年度会計決算認定に対する討論

各会計の決算を認定することに対し、賛成・反対それぞれの立場から討論が行われました。

「反対討論」

○ 決算の認定に対し、反対討論を行います。

いきいきプラザの指定管理者への業務委託料について、協定により漫然まんぜんと毎年の支払いを行うのではなく、指定管理者の年度ごとの収支報告書を基に決定すると良いと考えます。また、修繕費等の経費の内容についての説明が十分にされていないと考えるため、反対します。

○ 反対討論をいたします。

高額な国民健康保険税は、子育て支援や町の健康づくりにも影響を与えると考えます。また、介護保険について、超高齢化社会において、保険料は上がらざるを得ないとの声もあるが、年金で暮らしている高齢者にとって生存権の問題であると考えます。これらの理由から議案第58・59・60・61号の決算認定は反対します。

「賛成討論」

○ 賛成の立場から討論を行います。

一般会計では、健全財政の維持に向け歳入の確保、歳出の精査等の努力が読み取れ、特別会計及び水道事業会計では、黒字決算又は利益を計上し、さらに町債等も減少させており、堅実な運営がなされていると思われま。今後も一層の努力をされ、町民の負託に応えられるよう要望し、賛成します。

委員会視察研修報告

産業厚生常任委員会

【研修日】7月19日・20日

農商工連携事業への取り組みについて

【山形県河北町】

河北町では、平成25年に「企業組合 かほくイタリヤ野菜研究会」を設立し、約50品目のイタリヤ野菜による高付加価値農業を確立しました。

6次産業化の推進を図りながら、町全体を活性化するため、作り手である農家と、使い手である商工業者、また、行政、金融機関と商工会が連携を図り事業を展開しています。取り組みにより、平成29年度のイタリヤ野菜の売上金額は約5,000万円に達しています。

今後は、物流コストの削減、量産体制の確立、首都圏での営業体制の確立等により、更に生産販売額を伸ばすことを目指しているとのことでした。行政が事業導入などで厚く支援しながら農商工それぞれの業種が連携し、特産品の開発販売に取り組んでいることに強く感銘を受けました。

産業・観光振興への取り組みについて

【山形県米沢市】

米沢市では、観光の現状と課題を客観的に分析し、様々な方策を策定し、プロジェクトを実施しております。特に、「ありがとう」の意味の山形の方言「おしょうしな」の心でお客様を迎え、おもてなしをする取り組みを行っており、街中、タクシー等いたる所に「おしょうしな」の文字が目につきました。

また、今年4月にオープンした「道の駅 米沢」に総合観光案内所を設置し、県と一体となって情報発信し、歴史に基づく観光を積極的にアピールしております。さらに、外国人観光客にも対応できるコンシェルジュを常駐させることにより、インバウンド観光の促進も図っていました。

観光地として広く知られている米沢市であっても、不断の努力で一層の振興を目指す姿勢に感銘を受けました。

両市町とも、産業の振興に対し独自の事業をさまざまな視点から行っていることが印象的でした。

以上、視察研修結果報告といたします。

委員長 津野田重一



常任委員会・議会運営

議会運営委員会

【研修日】8月1日・2日

議会改革への取り組みについて
【富山県滑川市】
なみりかわ

滑川市議会では、常任委員会による政策提案に取り組んでおり、これは議会が求められてきた行政の監視・追認をする役割から、政策立案する機関への変化などを背景に、考えられたものであります。提案作成のフローはPDCAサイクルにより実施され、PLANでは全員協議会における「提案を行う施策の選定」、DOでは常任委員会による「行政視察の実施」、視察に参加した常任委員からの報告書に基づき「提案の策定」、全議員の了解を得た「提案の当局への提出」、CHECK・ACTIONでは「当局からの回答、進捗の確認」となっています。平成29年度は3つの常任委員会から、8つの政策提案が提出されていました。

議会基本条例・議会政治倫理規則の制定について

【新潟県糸魚川市】
いとがわし

糸魚川市議会では、平成28年9月に「糸魚川市議会基本条例」を制定しました。印象的な条文として挙げられるのは、議員の活動原則を定めた第5条において、「法令に基づくもの以外は執行部附属機関への就任はしないものとする。」と規定されています。これは、各種審議会委員には議長が認められたもの以外、原則就任しないこととし、議員の執行部への関与を制限しています。

さらに、平成29年3月には、議員がその人格と倫理の向上に努め、議員の責務と規範を正しく認識し、市民の信頼に応えるとともに、公正で開かれた民主的な市政の発展に寄与することを目的に、「糸魚川市政治倫理規則」を定めています。この規則の第3条では、議員として守るべき政治倫理基準を具体的に7項目挙げ、議員倫理の歯止めを定めています。

両市とも、議員として目指すべき姿のため、日々、研さんを重ね、取り組まれていることに感銘を受けました。本町においても、議員として求められている姿を高め一層推進していく必要があるとの認識を深める研修でありました。

以上、視察研修結果報告といたします。

委員長 生出 慶一



審 議 結 果 一 覧

議案番号	付 議 事 件	結 果			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		賛成	反対	議決結果	篠塚啓一	宇津木宣雄	海老原友子	神藤昭彦	小川公威	志鳥勝則	高橋正昭	稲川洋	勝山修輔	津野田重一	生出慶一	稲見敏夫	松本清	稲葉弘	石崎幸寛
第50号	町長の専決処分事項の承認を求めることについて（平成30年度一般会計補正予算（第2号））	15	0	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第51号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	15	0	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第52号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	15	0	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第53号	平成30年度一般会計補正予算（第3号）	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第54号	平成30年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第55号	平成30年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第56号	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	14	1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第57号	平成30年度公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第58号	平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定について	13	2	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○
第59号	平成29年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	14	1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第60号	平成29年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	14	1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第61号	平成29年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	14	1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第62号	平成29年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第63号	平成29年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第64号	平成29年度水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	14	1	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

○…賛成、×…反対

※・・・田村 稔議長（16番）は、採決に加わりません。

一般質問

福祉・地域づくりに論戦

一般質問は、9月5日、6日の2日間にわたって行われました。

一般質問とは…議員が行政全般にわたって執行機関に対し、施策の状況や方針などについて説明や報告を求めるものです。議員にとっては、もっとも華やかな発言の場であり、大事な議員活動の場でもあります。

9月5日 5人の議員が登壇

質問議員 (質問順)	質問項目	質問要旨 (主なもの)
たかはし まさあき 高橋 正昭	通学路の安全確保について	○通学路の安全点検の内容と結果、危険箇所の対策
	学校体育館における空調設備の設置について	○猛暑によって館内が高温となり使用不可能になっている状況（災害時の避難場所に指定されていることもふまえ）に対する考え
しどり かつのり 志鳥 勝則	職員の再任用について	○再任用の状況
	町の重要な公の施設の利用について	○重要な公の施設の長期かつ独占的な利用状況
えびはら ともこ 海老原 友子	子育て支援について	○こども医療費助成制度の対象年齢拡大の考え
	健康対策について	○公共施設における受動喫煙対策の内容、国体開催時の受動喫煙対策、町内飲食店の禁煙・分煙の状況把握、小中学校の喫煙防止教育
おがわ きみたけ 小川 公威	教職員の労働環境について	○教職員の労働時間等の労働環境の現状と今後の改善方針
	学校施設・設備の安全管理について	○小中学校の施設・設備の安全管理状況
	子どもの安全確保について	○交通指導員の配置の現状と今後の方針、「子ども110番の家」の設置軒数と取り組み内容
	防災対策について	○集中豪雨対策の現状と今後の方針、町民の意識向上に向けた取り組み
しんどう あきひこ 神藤 昭彦	栃木県 ^{けんおつ} 央都市圏施設の広域利用について	○広域利用ができる施設と新施設への対応、町民への周知方法、市町間の会議開催状況
	体育センター改修期間の対応処置について	○改修工事の実施予定期間と、それに伴う利用時間の案内方法、工事中の代替施設の考え

9月6日 4人の議員が登壇

質問議員 (質問順)	質問項目	質問要旨 (主なもの)
しのづか けいいち 篠塚 啓一	小中学生の英語力アップについて	<p>○英語検定料助成、国で設定している目標（中学3年で英検3級相当以上の英語力を持つ生徒を50%以上とする）に対する現状と取り組み、2020年に大きく変わる英語教育に向けた取り組みの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学3・4年生で「外国語活動」の開始 ・小学5・6年生で「英語（教科）」の導入 ・中学の英語授業は「英語で行うことを基本とする」 ・大学入学共通テストで「4技能評価、民間資格・検定試験」の活用等
かつやま しゅうすけ 勝山 修輔	いきいきプラザにおける指定管理協定内容と業務内容について	<p>○経費内容（指定管理費充当分）、自主事業の範囲と認定の根拠、平成29年度収支実績の内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経費(197,343,325円)の内訳(人件費、報酬費、交通費、委託費等)の内容 ・使用料、賃借料(5,515,262円/年)は、適正であるといえるのか ・町内事業者の利用について(消耗品、広告費、保険費) ・修繕費 9,246,012円の内容 ・多目的広場管理料の内容 ・収支報告における利益(2,383,404円)に対する町長の考え
うつぎ のりお 宇津木 宣雄	保育所における保育時間の見直しについて	○保育時間延長の考え
	新入学児のランドセル購入に対する補助について	○ランドセル購入費補助の考え
いなば ひろし 稲葉 弘	滞納者へのまちづくり補助金の制限について	○制限を行う理由、制限による子育て支援策への影響
	東海第二原発再稼働について	○原子力災害に備えた協定（笠間市）の内容、町の避難計画、再稼働に対する町長の考え
	水道の民営化について	○民営化への考え、民営化した場合の使用料金、事業の負担金や企業が撤退した場合の対策

今定例会の
傍聴者は
36人

議会傍聴においでいただき
ありがとうございました。

学校周辺・通学路の安全確保

問 安全点検の結果は。

答 教育長 学校の塀・建造物の点検を行った結果、いずれも法令に合致していることを確認しました。

また、通学路においては、教職員等によりブロック塀などについて目視による点検を行った結果、大谷石のひび割れ等がみられる所がありました。

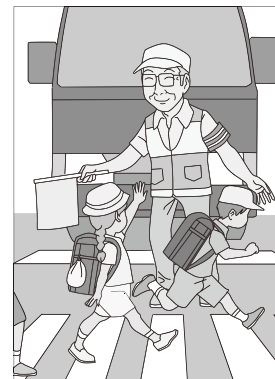
問 危険箇所への対策は。

答 教育長 通学路上の塀等については、個人の財産であることから、対策は難しいところでありますが、児童生徒への注意喚起とともに、安全教育



たかはし まさあき
高橋 正昭 議員

において指導を図ります。今後、地域の方々や関係機関と一体となり、子ども達の安全確保に努めます。



学校体育館における空調設備の設置について

問 猛暑が続く体育館内も高温となり使用が不可能な状況となっている、この現状をどのように考えるか。

答 教育長 小中学校共に暑さの厳しい時期の体育の授業は主に水泳を行っており、また、運動制限が必要な場合は、授業の入替えにより、比較的涼しい時間帯に体育の授業を行うなど、子どもの健康を維持しつつ、増進に努めているところです。

今後とも、児童生徒の健康増進に努めたいと考えます。

職員の再任用

問 町職員の再任用の状況は。

答 町長 現在9人の職員を任用しており、そのうち、8人は短時間勤務、1人はフルタイム時間勤務となっております。

職種としては、課長補佐1人、運転手3人、公仕6人です。

再任用事務については、平成26年に制定した、「上三川町職員の再任用に関する事務取扱要綱」により実施しています。

それ以後に再任用した職員は、平成27年度が1人、28年度が3人、29年度が7人です。

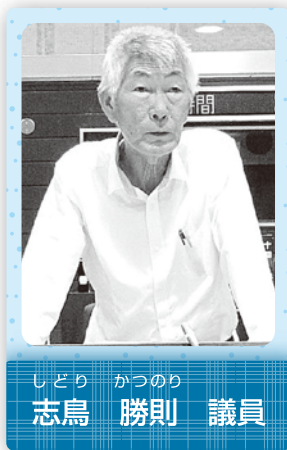


町の重要な公の施設の利用について

問 長期かつ独占的な利用の状況は。

答 町長 公の施設には、住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設であり、利用することについて正当な理由がない限り拒んではならないとされています。また、住民が公の施設を利用することについて、不当な差別的扱いをしてはならないとされています。

本町において条例で定める重要な公の施設等は14区分あり、長期かつ独占的な利用をさせることについて議決された施設は、「上三川町農産物加工生産組合ゆうがお」が利用する農産物加工所、1施設となっております。



しどり かつのり
志鳥 勝則 議員





子育て支援

問 子ども医療費助成制度の対象年齢拡大の考えは。

答 町長 現在の対象年齢は「出生した日から15歳に達する日以降の最初の3月31日までの者」です。

助成の対象を拡大した場合における町の財政負担について研究していきたいと考えます。

健康対策

問 公共施設における受動喫煙対策は。

答 町長 「上三川町禁煙さわやか施設登録制度」において25の公共施設が登録されており、うち13施設が敷地内全面禁煙、12施設が建物内全面禁煙の登

録となっています。また、町内飲食店については、2店舗が建物内全面禁煙の施設として登録されています。その他の飲食店の禁煙及び分煙の状況についての把握はしていません。

【上三川町禁煙さわやか施設登録制度】

禁煙施設を選択できる環境づくりのため、受動喫煙（室内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸ってしまうこと）防止対策に取り組み施設を「上三川町禁煙さわやか施設」として登録・公表しています。



登録施設に掲示される「禁煙さわやか施設登録ステッカー」
(左 敷地内全面禁煙施設用・右 建物内全面禁煙施設用)

防災対策

問 多発している集中豪雨への対策の現状と今後の方針は。

答 町長 上三川消防署東側道路の冠水被害対策として、今年度から3年計画で雨水調整池整備工事に着手しました。調整池の整備後、さらに、調整池より下流側の一級河川「武名瀬川」までの水路を整備することにより、市街地の浸水被害の軽減が図られると考えます。

子どもの安全確保

問 「子ども110番の家」の設置軒数と取り組み内容は。

答 町長 子ども達がトラブルに巻き込まれそうになった時に



避難し、保護できる場所として協力いただける方を登録しています。毎年学校単位で募集を行っており、平成30年度の登録軒数は253軒です。今後も地域や関係機関と一体となり、子ども達の安全確保に努めます。



問 交通安全指導員の配置の現状と今後の方針は。

答 町長 14人の指導員が在籍し、通学路の危険箇所や要注意箇所において、交通安全に尽力いただいています。指導員の人数を人口割で換算すると2,234に1人の割合となっています。

増員の予定はありませんが、スクールガードや地域の安全見守り隊などのボランティアの方々とも連携した総合的な施策をとっていききたいと考え

栃木県央都市圏施設の広域利用

問 広域利用が可能な施設とは。

答 町長 公共施設の広域利用に関する協定を締結している施設は大きく分けて3種類で、図書館、スポーツ・レクリエーション施設、老人福祉センター等です。

協定書に利用可能となる施設を具体的に挙げて、締結しています。

問 住民が利用料金を確認する方法は。

答 町長 各施設、またはそれを所管する部署において、ホームページ等により料金等の周知を行っています。



しんどう あきひこ
神藤 昭彦 議員

【栃木県央都市圏施設の広域利用の締結市町】

宇都宮市・鹿沼市・日光市・真岡市・さくら市・下野市・芳賀町・壬生町・高根沢町・上三川町

体育センター改修工事

問 とちぎ国体開催に伴う改修工事の期間は。

答 教育長 2019年10月から2020年9月までの12ヶ月程度を想定しています。

問 代替施設の考えは。

答 教育長 町主催のイベントや体育協会主催の各種教室等については、小中学校の体育館や農村環境改善センターの多目的ホール等を利用して対応する予定です。

小中学生の英語力アップ

問 英語検定料に対し助成する考えは。

答 教育長 英語教育の一層の推進を図るため、実現に向けて準備を進めています。

問 2020年に英語教育が大きく変わるとされているが、それに対する町の取り組みは。

答 教育長 平成27年度に「英語教育改革実施計画」を策定し、取り組んでいます。

主な内容は、授業時間数の確保、ALTの配置拡大、英語教育の教員リーダーの育成、授業力アップの研修の実施があります。

平成30年度からはALTを2人増員し、計7人のALTが中学校区を基本として勤務

しています。

問 国において、中学3年生で英検3級相当以上の英語力を持つ生徒を50パーセント以上とする目標を設定しているが、町の現状は。

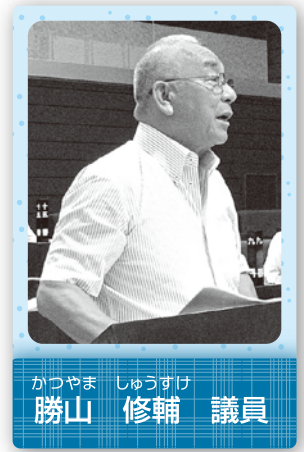
答 教育長 平成29年度の英語教育実施状況調査では、3級以上相当の英語力を持つと思われる生徒の割合は、全国・町ともに40・7%という結果でした。

しかし、3級以上を取得している生徒に限ると、全国が22%に対し、町は全国を10ポイント近く上回る31・4%でした。



しのづか けいいち
篠塚 啓一 議員





いきいきプラザの平成29年度収支実績

問 経費(1億9,734万3,325円)の内訳は。

答 町長 人件費が4割強、委託費が5割強で残りが交通費等です。

問 賃借料、使用料の551万5,262円という金額について適正と考えるか。

答 町長 使用料や賃借料等指定管理費に係る事業運営について、施設の設置目的の達成に向け、適正に行われていると考えます。

問 消耗品購入・広告費等については、町内業者を利用しているのか。

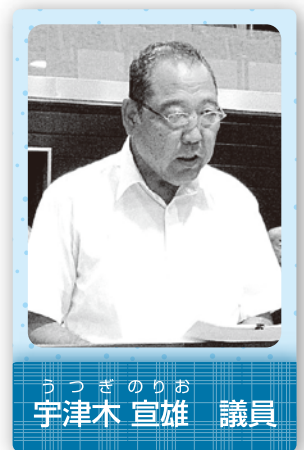
答 町長 町と指定管理者が締結している協定書には、町内業者も積極的に活用する努力義務が明記されており、灯油や事務消耗品の購入、軽微な修繕等は町内業者を利用しています。

問 修繕費の924万6,012円の内容は。

答 町長 いきいきプラザを開館するために必要な設備や備品等について修繕を実施しています。

問 多目的広場管理料の内容は。

答 町長 植栽の剪定や屋外施設の保守点検、清掃などが主な業務です。



保育所の開園時間

問 働きながら子育てをする世帯の支援のため、開園時間の延長の考えはあるか。

答 町長 子ども・子育て支援新制度において、保護者の就労状況により、保育標準時間を1日あたり11時間、保育短時間を1日あたり8時間と定められており、保育時間以外の保育は延長保育で対応することになっています。

そのことから、町が独自に保育時間を延長することはありません。

新入学児のランドセル購入費補助

問 ランドセル購入費補助の考えは。

答 町長 ランドセルは、全ての児童が必ずしも使用するとは限らず、購入の必要がない場合もあります。

具体的には、障がいのある児童が通う特別支援学校では、リュックの使用を推奨していることから、多くの家庭ではランドセルを購入せずリュックを使用しています。

このため、子育て家庭への公平な支援の観点から、補助金を導入する考えはありません。



東海第二原発再稼働

問 茨城県笠間市と結んでいる原子力災害時の協定内容は。

答 町長 協定は、災害対策基本法に基づき必要事項を定めています。

具体的には、避難所の準備、避難者の受入れ、また、避難所における必要物資の確保やそれに伴う費用負担などが定められています。

問 町の避難計画の内容は。

答 町長 町の災害時避難計画は、地震・台風・豪雨等の自然災害を想定しています。

原子力災害においては、国の原子力災害対策本部から、屋内避難や避難指示等がされるため、災害情報の迅速かつ確かな収集に努め、住民の安

水道の民営化

問 民営化された場合の使用料金は。

答 町長 先の国会で提出された水道法の改正案(審議中)は人口減少や、水道施設の老朽化等の課題に対し、国や県による広域連携の推進など、事業基盤の強化を図るための内容となっております。

そのうち、官民連携の推進では、町が水道施設の所有権を有したまま、運営権を民間事業者を設定できる仕組みの導入が可能とされています。これを導入した場合でも、使用料金は条例で上限を設定し、その範囲内で民間事業者が設定するとされていることから、導入自体が料金の値上がりにつながるものではないと考えます。

全確保を図ります。



いなば ひろし
稲葉 弘 議員



議会を傍聴しませんか！

◆次回は12月定例会を開会予定です◆

日程等は決まり次第、広報かみのかわ・町ホームページでお知らせします。

<https://www.town.kaminokawa.lg.jp>

【受付手続きは簡単!】

議会当日、役場4階議会事務局にて、傍聴人受付簿に住所・氏名などをご記入ください。記入後に傍聴券を先着順で交付いたします。

【問い合わせ先】

議会事務局 電話56-9162



上三川町ってどんなところ？ 第5弾、町内小・中学校を紹介！



①創立記念日 ②生徒数 ③教育目標 を伺いました！

町には、10校の小・中学校があります。今回は、本郷地区の学校を紹介します。

本郷中学校

あいさつ・自学・地域連携



- ①昭和22年4月28日
- ②264人
- ③自ら考え、主体的に行動する生徒の育成



体育祭

本郷小学校

ひっぱり勉強 みんなと仲良く 明るく元気



- ①明治7年12月7日
- ②145人
- ③よく学び、進んで考える子
広い心を持ち
仲良く助け合う子
明るく元気な子



本郷まつり

本郷北小学校

ながよく かしく たくましく



- ①昭和57年4月1日
- ②313人
- ③広い心を持ち、仲良く助け合える子
進んで学び、よく考える子
活力があり、がんばりぬく子



手つなぎ遠足



編集後記

「書と寒とも彼岸まで」の言葉通り、だんだんと涼しくなって過ごしやすいようになってきました。日も短くなり、秋の夜長を楽しんでいらつしやるのでしょうか？「〇〇の秋」と言われるように何をすることも最適な季節ですね。かく言う私も心地良い虫の音を聞きながら、この編集後記を書いています。さて、お気付きになったかもしれませんが、前号より町内の小中学校を紹介しております。「おっ！自分の母校だ！」と思われた方もたくさんいらつしやるのではないのでしょうか？ちなみに皆さんは校歌を覚えていますか？自分はどうかというところ…：それがうる覚えなんですよ。そこでお子さん・お孫さんを交えて校歌の話で盛り上げてみては如何でしょうか？

議会だよりを家族の会話のネタにしていたら、議会に少しでも興味をお持ち頂けたら幸いです。

(篠塚)

広報委員会

- 委員長 神藤 昭彦
- 副委員長 海老原友子
- 委員 篠塚 啓一
- 委員 小川 公威
- 委員 石崎 幸寛